

## 竹田電気株式会社 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 30 日

株式会社北洋銀行  
帯広中央支店

### 1. 基本情報

企 業 名	竹田電気株式会社	
代 表 者 名	竹田 悦郎	
所 在 地	北海道十勝郡浦幌町宝町17	
資 本 金	1,000 万円	
従 業 員	19 名	
業 種	電気工事業	
事 業 内 容	・内線工事: 民間の建物内部における電気配線、照明、コンセントなどの設置工事 ・外線工事: 電柱の設置や河川を跨ぐ配線工事等、送配電の基盤となる工事	
沿 革	1937 年 1951 年 1958 年 1976 年 1989 年	個人にて自転車販売業として創業 法人成により「有限会社 竹田電気商会」設立 電気工事請負業を開始 株式会社へ変更「竹田電気 株式会社」設立 竹田悦郎氏(現任)が代表取締役に就任

### 2. 社訓

#### 社訓

- ・常に社会的責任に徹し、感謝の心で行動すべし
- ・常に熱意をもって会社の発展に努力すべし
- ・常に和協の精神で一致団結すべし

竹田電気が重視しているのは、地域に根ざした事業運営である。長く商売を続けられるのは「地域の支えがあつてこそ」との思いから、顧客への感謝と地域貢献を第一に掲げている。

現代社会において、電気は生活・産業の根幹を成すライフラインであり、災害時に供給が止まれば人々の暮らしは大きな支障を受ける。同社は「ライフラインを担う責任」を強く意識し、地域に安心・安全を提供する企業を目指している。

### 3. 事業概要

竹田電気は十勝浦幌町に拠点を構える電気工事業者である。受注は公共工事と民間工事がほぼ半々の割合であり、公共と民間を問わず多様なニーズにバランスよく対応していることが強みとなっている。また、当社は浦幌、池田、豊頃 の 3 町内の電気のトラブルに対し 24 時間 365 日対応する「ほくでんサービス」の看板を掲げる同 3 町内唯一の事業者でもある。その強みを生かし、Jリード(豊頃町)やランドハート(浦幌町)といった酪農法人が有するメガファーム内の照明ほか搾乳設備や大型扇風機といった専門設備や、日立建機浦幌試験場といった年中稼働の必要な設備の保守点検を受託している。電気工事という社会インフラを担うと同時に、危険と隣り合わせの現場でもあることから、同社はこの重責を自覚し、地域・顧客・従業員の三方に貢献する持続可能な組織運営を実践している。

#### ・社屋



#### ・高所作業車



出所：竹田電気 提供資料

#### ・安全・確実な施工

当社は上記設備工事のほか、電柱設置や電線工事も手掛ける。当該工事は感電・高所作業などリスクも多い。経産省発表の令和 5 年度電気保安統計によると、電気工事現場における事故件数は約 1.5 万件、そのうち感電による死亡事故件数は 14 件＝毎月 1 件ペースと高リスクであり、安全対策は同社の根幹に関わるテーマとも言える。その認識のもと、当社は徹底した安全対策に取り組んでいる。毎週行われる朝礼で社長自ら安全に関する訓話を行うことで、全社員の意識醸成実施を図っているほか、ベテラン社員と若手社員をペアにして現場に投入する仕組みを徹底することで技術と安全知識を効率的に伝承している。日常的に安全文化を組織に根付かせることが、労働災害の防止と信頼ある施工品質を支えている。

#### ・人材を大切にしている経営姿勢

当社は「従業員がいるからこそ会社が成り立つ」という考えのもとに、地域、業界平均と比較して高い給与水準の維持や、完全週休 2 日制の導入、従業員の病気・怪我に備えた保険制度の充実、資格取得サポート費用の全額負担に取り組むことで、従業員が定着する職場づくりを行っている。未経験・異業種からの転職者定着率が非常に高いことが特徴であり、ベテランと若手のチーム編成による効率的な OJT 等の手厚い教育体制と安心できる職場環境が従業員の定着につながっている。また、従業員の意見を大切にしたいとの思いから、社長が参加しない従業員のための会議を週 1 回開催。ここでは、同社が末永く発展するための施策を従業員主体で考える機会を設けており、現場からの意見が経営に反映される仕組みとなっている。透明性と多様な意見を取り込むガバナンスを確立することで社員の主体性が高まり、組織としての一体感が醸成されている。

**・地域共生**

竹田電気は事業活動のみならず、地域社会の一員としてともに歩む存在であることを意識し、地域貢献活動を積極的に展開している。冬季には電気工事業者としての専門性を活かし、町内広場でのイルミネーションを実施。地域住民や観光客に憩いの場を提供している。春には町内 60 か所以上の花壇整備に取り組み、町全体の景観向上に寄与。その他町内で実施されるイベントや町づくり活動にも自発的に関与している。地域貢献により地域社会との絆を強め、長期的な信頼関係の構築につながっている。

**・竹田電気が手掛けたイルミネーション****・花壇整備の様子**



#### 4. サステナビリティ目標

竹田電気の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、竹田電気の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、竹田電気のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

##### (1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

##### (2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	正社員の年間総労働時間を 1,923 時間以下にする。
関連する SDGs	 

#### 留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。